

未来を形づくる5つの要因：要因2 グローバル化の進展

人、モノ、カネ、情報のグローバル化が進む。これは既に起こっている現実で今後も加速していくと思われる。グローバル化によって、24時間365日絶え間なく情報やお金が動いている世界、中国やインドなどの新興国が台頭し単なるモノの生産国から消費する国へ、新興国からも高度な技術/スキルを持った人材が登場する、など。一方で、競争がますます激しくなり、人々は時間に追われるようになる。



1.24時間・週7日休まないグローバルな世界が出現した



2.新興国が台頭した



3. 中国とインドの経済が目覚しく成長した



2015年のランキング		
1	中国	13億7605万人
2	インド	13億1105万人
3	米国	3億2177万人
4	インドネシア	2億5756万人
5	ブラジル	2億0785万人
6	パキスタン	1億8893万人
7	ナイジェリア	1億8220万人
8	バングラデシュ	1億6100万人
9	ロシア	1億4346万人
10	メキシコ	1億2702万人
11	日本	1億2657万人

2025年のランキング		
1	インド	14億6162万人
2	中国	14億1487万人
3	米国	3億4509万人
4	インドネシア	2億8451万人
5	ナイジェリア	2億3356万人
6	パキスタン	2億2718万人
7	ブラジル	2億2298万人
8	バングラデシュ	1億7906万人
9	メキシコ	1億4192万人
10	ロシア	1億4120万人
12	日本	1億2284万人

2035年のランキング		
1	インド	15億8535万人
2	中国	14億0832万人
3	米国	3億6527万人
4	インドネシア	3億0485万人
5	ナイジェリア	2億9397万人
6	パキスタン	2億6213万人
7	ブラジル	2億3301万人
8	バングラデシュ	1億9250万人
9	メキシコ	1億5340万人
10	エチオピア	1億5143万人
15	日本	1億1706万人

4. 倹約型イノベーションの道が開けた



■ 倹約型イノベーション：フルーガル・イノベーション (Frugal Innovation) 「フルーガル（質素、倹約的）・イノベーション」とは、最少の資源とコストで、最大の価値を機敏に生むイノベーション



■ 安価な「トラクター」



■ 竹を安全に加工する機械

5. 新たな人材輩出大国が登場しつつある



6.世界中で都市化が進行する



7. バブルの形成と崩壊が繰り返される



8.世界のさまざまな地域に貧困層が出現する

